

# 平成 2 1 年度第 1 1 回宮城大学食産業学部 教授会議事録

<b>開催場所</b>	管理棟 大会議室	<b>開催日時</b>	平成 2 2 年 3 月 1 0 日 (水) 1 3 : 3 0 ~ 1 5 : 0 0
<b>出席者</b>	<p>4 9 名 / 定数 5 3 名 (ファームビジネス学科) 齋藤教授, 中村(正)教授, 本藏教授, 大竹教授, 松森教授, 小林教授, 井上教授, 木村教授, 小黒准教授, 岩浪准教授, 中村(聡)准教授, 森本准教授, 岩井准教授, 紺屋講師, 須田助教, 齊藤(秀)助教</p> <p>(フードビジネス学科) 鈴木教授, 高橋(浩)教授, 山崎教授, 大久教授, 池戸教授, 津志田教授, 石田教授, 川村教授, 西川教授, 下山田教授, 鶴岡准教授, 堀田准教授, 老川准教授, 清野准教授, 金内准教授, 森田講師, 湊講師, 谷口助教, 君塚助教, 木下助教</p> <p>(環境システム学科) 矢野教授, 佐藤教授, 上島教授, 森山教授, 富樫教授, 北辻教授, 笠原准教授, 原田(鈺)准教授, 原田(茂)講師, 千葉講師, 伊吹講師, 高橋(信)助教, 折笠助教</p> <p>欠席: フード 三石教授, 菰田講師 環境 加藤教授, 神宮宇准教授</p>		
	(事務局) 眞山参事兼総務学務課長, 小野寺課長補佐, 半田課長補佐, 大場主査		
<b>議 事 内 容</b>			
<b>審議事項</b>	<p>議事録署名人に学部長, (環境) 森山教授 (フード) 木下助教, を指名した。</p> <p>(1) 第 9 回議事録の確認について 3 月 1 日に確認依頼のメールを全教員に送信済 原案のとおり承認された。</p> <p>(2) 平成 2 1 年度後期成績確認について 教務委員長から説明がなされ原案のとおり承認された。 なお, 不可が多い学生については, 教務委員を通して各学科で指導を強化するよう依頼があった。</p> <p>(3) 平成 2 2 年度前期科目等履修生について 教務委員長から入学志願者 1 名の説明がなされ承認された。</p> <p>(4) 平成 2 2 年度非常勤講師について 教務委員長から説明がなされ, 原案のとおり承認された。 なお, 4 月異動による追加, 修正等があった場合は教務委員会に任せる。</p> <p>(5) 学生の身分について 学生委員長から休学 4 名, 退学 1 名, 復学 1 名及び授業料未納者 1 名の除籍について説明がなされ承認された。 休学期間は最長何年まで可能か質疑があり, 学生部長から「学則 3 0 条第 4 項に休学は 1 年を超えることができない。ただし, 特別の理由により学長の許可があれば 2 年まで延長することができる。通算では最大 4 年まで休学できる。」との回答があった。</p>		

報告事項	<p>(6) 人事について</p> <p>学部長から2月9日付けで締結された宮城県との相互協力協定に基づき環境システム学科〇〇〇〇と宮城県産業技術総合センター食品バイオ技術部〇〇〇〇の2年間の人事交流について説明がなされ承認された。</p> <p>2年後人事交流が継続されるか質疑があり、学部長から「産業技術総合センター以外の研究機関を含め、状況をみて判断していく。」との回答があった。</p> <p>学部長から環境システム学科〇〇〇〇の再任用について選考委員会での審査に関する説明がなされ承認された。</p> <p>(7) 客員教授について</p> <p>平成22年度の客員教授について学部長から説明がなされ、運営会議で検討した女子栄養大学大学院客員教授〇〇〇〇氏と元(財)都市農産漁村交流活性化機構理事長〇〇〇〇氏の2名を推薦することが承認された。</p>
	<p>(1) 平成22年度予算について</p> <p>2月初旬の予算要求ヒアリングの結果が報告された。</p> <p>(2) 一般選抜前期日程試験結果について</p> <p>富樫入試委員長から2月25日の選抜結果について報告がなされた。</p> <p>(3) 全学委員会報告</p> <p>〔学務入試委員会〕</p> <p>平成23年度入試の時間帯案について報告がなされた。</p> <p>保証人に対する成績報告について、今年度の成績を4月に発送することになった。</p> <p>なお、個人情報保護の観点から、成人に達した学生に対して不都合がある場合は申し出ることを掲示したうえで実施する。</p> <p>〔地域連携センター〕</p> <p>来年度の公開講座、シンポジウム等への協力依頼と白石市と3月30日に連携協定を締結することについて報告がなされた。</p> <p>〔総合情報センター〕</p> <p>報告事項なし</p> <p>(4) 学部委員会報告</p> <p>〔教務委員会〕</p> <p>平成22年度時間割について報告がなされ、変更を希望する場合は各自で変更先の教員から了解をとり、教務委員に連絡するよう報告がなされた。</p> <p>また、基礎ゼミ実施方法については、これまでは前期を2人で7回に分けて実施していたが、最初の4回を文書の読み方、書き方を重点的にトレーニングする時間として実施し、残りを2人で5回ずつ担当する方式に変更することについて報告された。</p> <p>〔学生委員会〕</p> <p>就職が厳しい状況にあることから、有望な企業があればキャリア室に紹介するよう協力依頼がなされた。</p> <p>〔実験安全管理委員会〕</p> <p>表示掲示労安法 今年度は有機溶媒や特定の化学物質を使用している旨の全体表示を実施する方針である。4月以降は有機溶剤を研究室で使用する場合は個々の部屋での掲示について委員会で検討していく予定</p>

<p>その他</p>	<p>毒劇物については毒劇物の取締法及び労働安全衛生法で指定されている薬品を使用する場合は受払簿を準備するよう依頼がなされた。</p> <p>実験室への入室に伴う解除権限を3年生には付与しない。4月以降4年生になった時点で指定の様式で申請するよう依頼がなされた。その際、入室者の管理を徹底するため指導教員と実験室管理責任者の署名捺印のうえ申請するよう依頼がなされた。</p> <p>長期間使用する予定のない薬品の保管方法について質疑があり、実験安全管理委員長から「保管容器または薬品庫を購入するなど個別に対応してほしい。」との回答があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 津志田教授から文部科学省の科学技術振興調整費「地域再生人材創出拠点の形成」に応募する予定。現在、宮城食産業クリエイティブディレクターの養成のためのカリキュラムを作成しており事業を実行する際の協力依頼がなされた。</li> <li>・ 中期計画と年度計画の年度末の評価を運営会議、関係委員会委員長を中心に作成したが、意見を募集する報告がなされた。 また、来年度の年度計画についても、運営会議、関係委員長を中心に意見等を募集しながら作成することについて報告がなされた。</li> </ul> <p style="text-align: center;">議事録署名人</p> <p style="text-align: right;"> <u>池 戸 重 信</u> 印  <u>上 島 照 幸</u> 印  <u>老 川 信 也</u> 印 </p>
------------	--